

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

【奨励者からのメッセージ】

私が本学3年生の頃に「バビロンの河」という曲がヒットしました。約10年後の米国留学時の教会で、その歌詞は明るいレゲエ調とは全く逆の旧約聖書詩編137篇および19篇由来であるということを知りました。また、私のお気に入りの曲の一つ「ミスター・タンバリンマン」を大ヒットさせたバーズというグループが次にヒットさせた「ターン・ターン・ターン」は、旧約聖書コヘレトの言葉第3章そのものであることも知りました。このように欧米では聖書が歌になるほど大変身近なものです。人類史上最大のベストセラーは聖書であることを皆さんご存知の事と思いますが、旧約聖書は、ユダヤ教、キリスト教そしてイスラム教も採用している書物なのです。それゆえ「読まずに死ねるか！」なのです。

【第48回動物記念祭のご案内】

獣医学群では、動物医療センターにおいて治療の甲斐なく亡くなった動物や、獣医学の教育・研究の為に貢献してくれた動物の尊い命を思い起こし、追悼と感謝の祈りを捧げる動物記念祭を毎年催しております。今年は11月9日(土)11:00-12:00(開場は10:30)に黒澤記念講堂において行われます。学生・教職員はどなたでも参加できます。

【聖歌隊へのお誘い】

大学礼拝では、聖歌隊の合唱による讃美をプログラムしています。どなたでも参加できます。斉唱のみでなく、合唱で讃美をする楽しさは、世界を広げます。礼拝後、オルガン前に集合してください。

【秋期キリスト教教育強調週間のご報告】

10月29日に、西川求先生(北海道三愛畜産センター理事長)をお迎えして秋期キリスト教教育強調週間が行われました。礼拝後には茶話会も持たれ、有意義な時間となりました。

【次回の礼拝】

今回は11月12日です。奨励は酪農学園宗教主事の朴美愛先生が担当してくださいます。ご期待ください。

【前回の出席者】 2019年10月29日

学生 283名 教職員他 10名 計 293名

【大学礼拝週報】2019年度 第21号(後学期第6号)

2019年11月5日(火) 午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《大学礼拝》

司 式 高橋優子(キリスト教学教員)
奏 楽 佐藤理恵(野幌教会会員)
讃美指導 相原晴伴(循環農学類教員)

前 奏 「主イエスよ、われらみことばをきかん」(J. C. バッハ作曲)

讃 美 讃美歌 (主よ、おわりまで)

聖 書 コヘレトの言葉3章1-8節

祈 り

さん び

酪農学園大学聖歌隊

奨 励 「読まずに死ねるか！」

大杉剛生(獣医学類教員・動物実験委員会委員長)

讃 美 酪農讃歌

報 告

後 奏 「おおイエス・キリストよ、わが生命の光」(ヴァーグ作曲)

【本日の聖書】コヘレトの言葉3章1-8節

- 1 何事にも時があり 天の下の出来事にはすべて定められた時がある。
- 2 生まれる時、死ぬ時 植える時、植えたものを抜く時
- 3 殺す時、癒す時 破壊する時、建てる時
- 4 泣く時、笑う時 嘆く時、踊る時
- 5 石を放つ時、石を集める時 抱擁の時、抱擁を遠ざけるとき
- 6 求める時、失う時 保つ時、放つ時
- 7 裂く時、縫う時 黙する時、語る時
- 8 愛する時、憎む時 戦いの時、平和の時。